



マツシロ株式会社

2022年度 環境経営レポート

(対象期間：2022年6月1日～2023年5月31日)



作成日：2023年8月25日

更新日： 年 月 日

この紙は端紙を使用しています

□ごあいさつ

今年度はコロナウィルスの感染拡大が広がるものの、重症化リスクが低減し感染対策をしながらではありますが、日常生活が戻ってきました。コロナウィルスも今年の5月には5類へ移行されました。そのため徐々にではありますが経済活動も活発にはなってきています。しかしまだまだ元に戻るわけではなく厳しい日々が続いています。ロシアによるウクライナへの侵攻も1年が過ぎ、その影響で原油価格の高騰、物価高など我々の生活に大きな影響が出ています。世界的なエネルギー問題により石炭などの使用が増え、より一層の温暖化が進んできています。エコアクション21を中心に弊社の小さい活動ではありますが、それが少しでも地球環境等に貢献できていることを感じながら活動していきたいと思えます。

2023年8月

代表取締役社長 松城幹夫

環境経営方針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみになってしまう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営方針の中に、「環境を意識して、地域社会に信頼され、社会に貢献する会社になります」という項目があります。この方針を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

・ 行動指針

1. 地球温暖化緩和のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 有害化学物質の使用禁止
5. グリーン調達並びに環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境経営目標・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ・ 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します。
- ・ 環境への取り組みを環境経営レポートとして公表します。

制定日：2005年10月21日

改定日：2022年6月1日

代表取締役社長 松城 幹夫

取組の対象組織・活動

■組織の概要

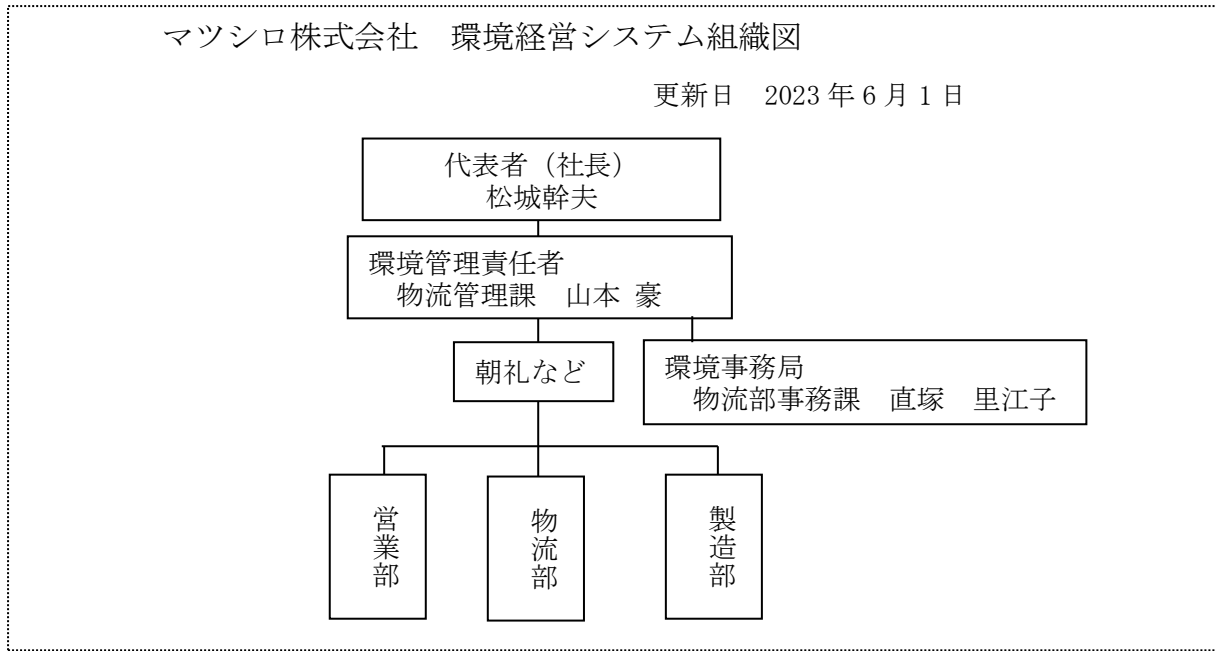
- (1) 名称及び代表者名
マツシロ株式会社
代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
本社/工場：大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 物流管理課：山本 豪 TEL：072-962-1431
担当者 物流管理課：山本 豪 TEL：072-962-1431
- (4) 事業内容
紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売、雑貨小物の製造・企画・販売

主要製品：紙・ポリプロピレン完全分別紙袋、ポリプロピレンビニール被せ紙袋、
レジかご対応バッグ(エコマイラインバッグ)、環境対応買い物袋 等
ホームページ：<https://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 192.1 トン/年
従業員 12 名
本社/工場延べ床面積 1,515 m²
- (6) 事業年度
6月～5月

■認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：マツシロ株式会社
活動：紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売、雑貨小物の製造・企画・販売

■環境経営組織図及び役割・責任・権限表（実施体制の構築）



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> 責任部門における環境経営方針の周知 責任部門の従業員に対する教育訓練の実施 責任部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 責任部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、試行・訓練を実施、記録の作成 責任部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
朝礼など	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

※環境経営システム組織図の更新は、環境事務局員を変更したことによるものです。

主な環境負荷の実績

本社/工場における主要な環境負荷の実績は次のとおりです。(2020年～2022年度の3年の実績)

項目	年度	2020年度	2021年度	2022年度
		(実績)	(実績)	(実績)
二酸化炭素排出量合計	(kg-CO2)	23,771.41	24,144.17	27,551.08
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	1,765.00	2,374.00	3,238.00
節水	(m ³ /年)	73.00	67.00	73.00
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	7,088.28	4,648.31	4,995.05
電力の二酸化炭素排出係数(調整後)	kg-CO2/kWh	0.493	0.511	0.511

※関西電力：0.493(2016年度の調整後排出係数を採用)

2021年度よりHTB エナジー(株)調整後排出係数=0.511を採用

■環境経営目標とその実績

本社/工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年度	2020年度	2022年度		2023年度	2024年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ(0.511kg-CO2/kWh)	(kg-CO2)	17,887.04	17,529.30	20,399.63	17,350.43	17,171.56
自動車燃料の削減	(kg-CO2)	6,514.44	6,384.15	7,151.45	6,319.00	6,253.86
二酸化炭素排出量合計(kg-CO2)		24,401.48	23,913.45	27,551.08	23,669.43	23,425.42
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	1,765.00	1,729.70	3,238.00	1,712.05	1,694.40
節水	(m ³ /年)	73.00	71.54	73.00	70.81	70.08
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	7,088.28	7,230.04	4,995.05	7,300.93	7,371.81

※化学物質は使用していません

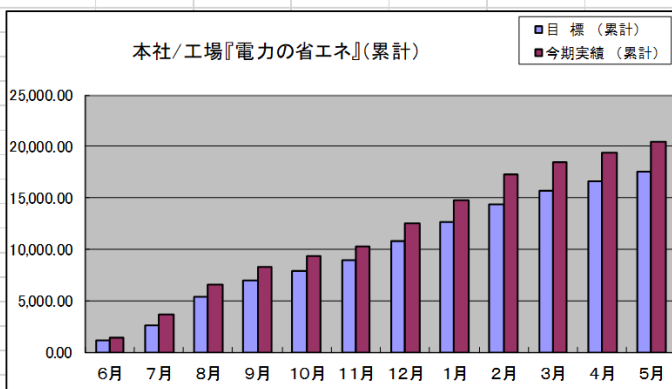
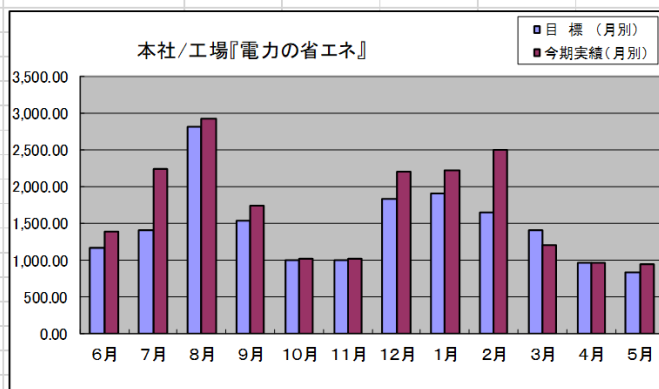
※目標設定のため、2020年度の電力の二酸化炭素排出係数を0.511kg-CO2/kwhで計算した数値を記載しています。

■環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

本社/工場

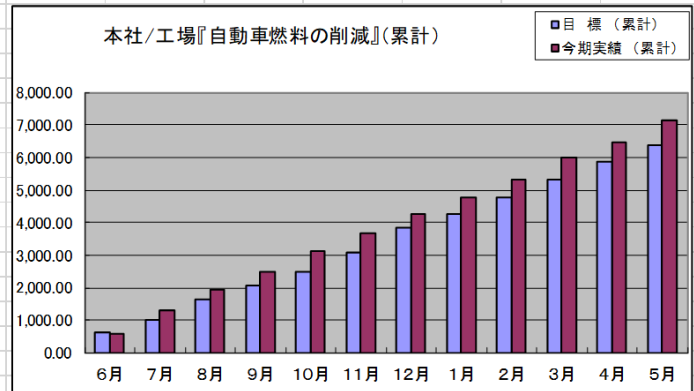
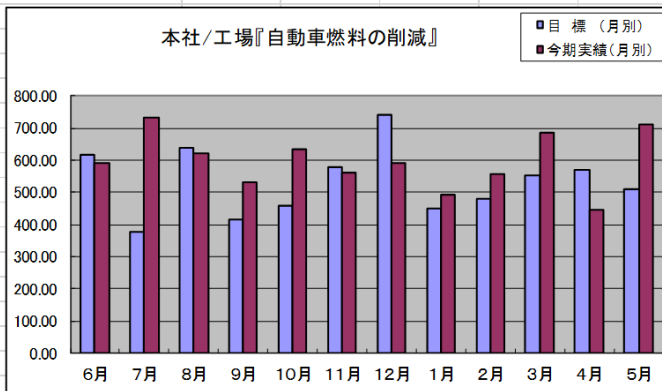
取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
①電力の省エネ ・エアコンを省エネタイプに更新 ・省エネ機器の導入 ・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃) ・不要照明の消灯	目標：17,529.30kg-CO2 実績：20,399.63kg-CO2 2,870.33kg-CO2 増加	(目標未達成) 気候の良い季節が短く、年中エアコンを使用している状態で、電気使用量を減らす事が出来なかった。 引き続き体調管理に留意しつつ削減意識を持って取り組んでいきます。

(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標(月別)	1,178.34	1,413.70	2,818.39	1,538.90	994.05	1,008.57	1,828.85	1,899.96	1,650.07	1,402.18	961.50	834.80
今期実績(月別)	1,393.50	2,235.11	2,934.16	1,745.58	1,018.42	1,018.93	2,207.52	2,231.03	2,491.64	1,211.07	967.32	945.35
(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標(累計)	1,178.34	2,592.04	5,410.43	6,949.32	7,943.37	8,951.94	10,780.79	12,680.75	14,330.82	15,733.01	16,694.50	17,529.30
今期実績(累計)	1,393.50	3,628.61	6,562.77	8,308.35	9,326.77	10,345.71	12,553.23	14,784.25	17,275.89	18,486.96	19,454.28	20,399.63



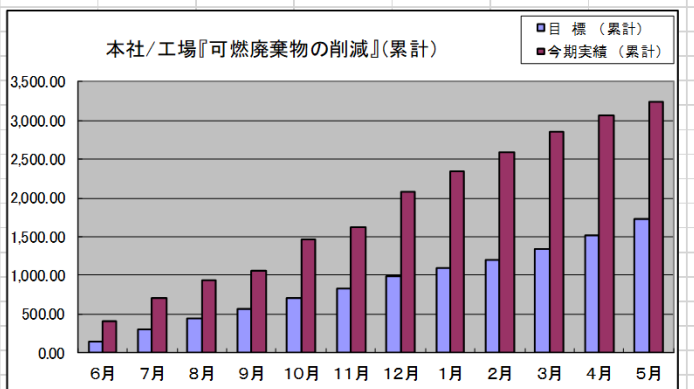
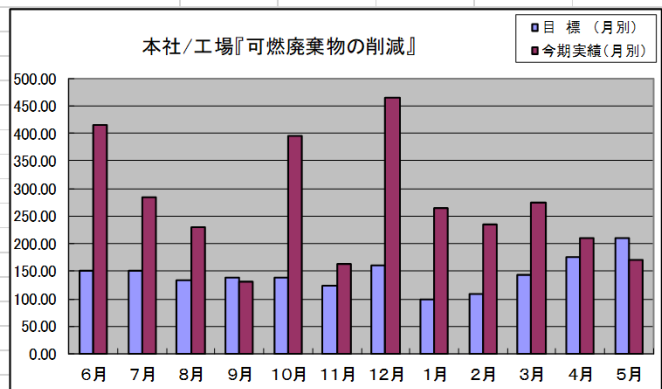
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
②自動車燃料の削減 ・営業ルート効率化 ・エリア別営業活動の見直し ・加工所への車使用頻度の削減	目標：6,384.15kg-CO2 実績：7,151.45 kg-CO2 767.30 kg-CO2 増加	（目標未達成） 目標の約12%増の結果となりました。 引き続き営業活動ルートを効率化し、 車の使用回数とガソリン使用量の削減 を目指していきます。

(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（月別）	618.11	376.63	639.11	414.52	458.19	576.88	739.28	451.43	477.58	553.31	569.94	509.16
今期実績（月別）	592.64	732.91	621.39	530.58	635.53	560.33	591.17	492.53	556.58	683.07	444.98	709.74
(kg-CO2)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（累計）	618.11	994.74	1,633.85	2,048.37	2,506.56	3,083.44	3,822.72	4,274.15	4,751.73	5,305.04	5,874.99	6,384.15
今期実績（累計）	592.64	1,325.55	1,946.94	2,477.52	3,113.05	3,673.38	4,264.54	4,757.07	5,313.65	5,996.72	6,441.71	7,151.45



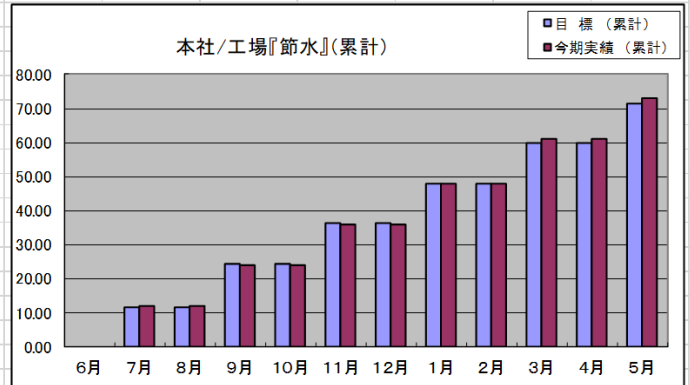
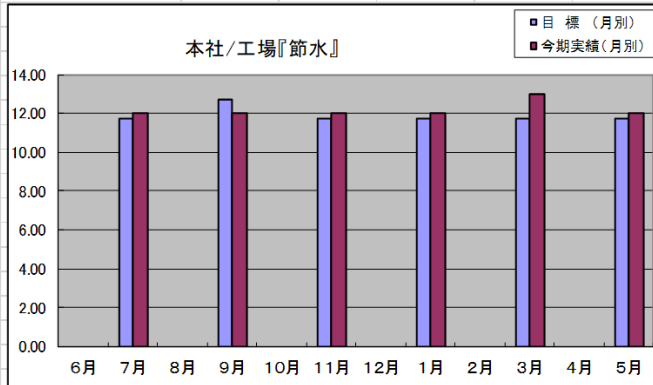
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
③可燃廃棄物の削減 ・ゴミの分別と削減 ・断裁ミスの削減 ・廃棄製品の再利用 ・端紙の使用 ・ミスコピー及びミスプリントの防止 ・コピーではなくスキャンによる資料保管でペーパーレス化の推進を図る	目標：1,729.70 kg 実績：3,238.00 kg 1,508.30kg 増加	（目標未達成） ゴミの重量計測方法を変更したのが 影響したのか、今年度も目標達成が 大変厳しい状況です。引き続きゴミ の分別化と削減に取り組んでいきま す。

(kg)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（月別）	151.90	151.90	132.30	137.20	137.20	122.50	161.70	98.00	107.80	142.10	176.40	210.70
今期実績（月別）	415.00	285.00	230.00	130.00	396.00	164.00	465.00	264.00	235.00	273.50	210.50	170.00
(kg)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標（累計）	151.90	303.80	436.10	573.30	710.50	833.00	994.70	1,092.70	1,200.50	1,342.60	1,519.00	1,729.70
今期実績（累計）	415.00	700.00	930.00	1,060.00	1,456.00	1,620.00	2,085.00	2,349.00	2,584.00	2,857.50	3,068.00	3,238.00



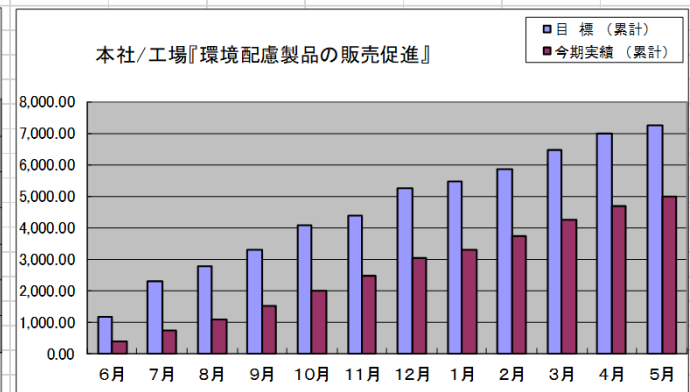
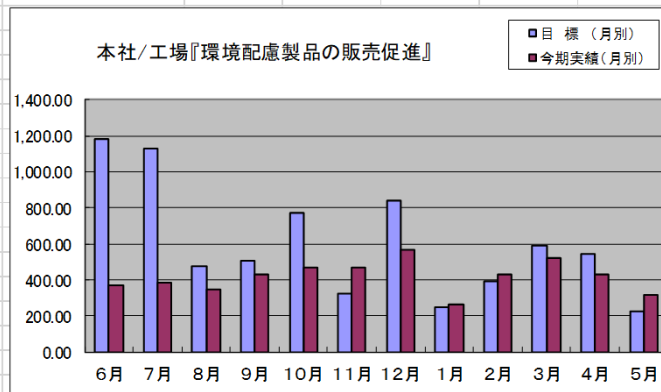
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
④節水 ・節水弁(バルブ)取付け	目標：71.54 m ³ 実績：73.00 m ³ 1.46 m ³ 削減	(目標未達成) 1月から人数が増えた為、水の使用量が増えて目標達成には及ばなかった。引き続き節水意識をもって取り組んでいきます。

(m ³)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (月別)	0.00	11.76	0.00	12.74	0.00	11.76	0.00	11.76	0.00	11.76	0.00	11.76
今期実績 (月別)	0.00	12.00	0.00	12.00	0.00	12.00	0.00	12.00	0.00	13.00	0.00	12.00
(m ³)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (累計)	0.00	11.76	11.76	24.50	24.50	36.26	36.26	48.02	48.02	59.78	59.78	71.54
今期実績 (累計)	0.00	12.00	12.00	24.00	24.00	36.00	36.00	48.00	48.00	61.00	61.00	73.00



取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
⑤環境配慮製品の販売促進 ・エコマーク取得 ・有害化学物質の使用禁止 ・再生紙の使用 ・新商品の開発 (防災関連商品を含む) ・SDGs への取り組み	目標：7,230.04 万円 実績：4,995.05 万円 -2,234.99 万円減額	(目標未達成) コロナ禍の影響もまだあり営業活動をするも売上が伸びず目標達成には及ばなかった。次年度の売上に貢献出来るよう新商品開発と販売促進に取り組んでいきます。

(万円)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (月別)	1,181.74	1,128.38	473.10	509.52	768.83	325.40	840.60	251.12	391.60	590.71	540.79	228.26
今期実績 (月別)	369.65	383.69	344.11	430.66	469.78	467.63	564.78	262.99	432.38	519.64	432.86	316.88
(万円)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標 (累計)	1,181.74	2,310.12	2,783.22	3,292.74	4,061.57	4,386.97	5,227.57	5,478.68	5,870.28	6,460.99	7,001.78	7,230.04
今期実績 (累計)	369.65	753.34	1,097.45	1,528.11	1,997.90	2,465.53	3,030.31	3,293.30	3,725.68	4,245.31	4,678.17	4,995.05



【紙とポリプロピレンに完全分別可能商品】

マジックタグ使用紙袋(エリートDX、ミニDX、トクダイDX、アトラスDX)



【再生紙使用商品】

古紙パルプ配合率 30%以上



無地手提げバッグ(白)

無地コーティングバッグ(白) 無地ビニールカバーバッグ(白)

【レジかご対応バッグ】

《エコマイバッグ》



《エコマイラインバッグ》



《保冷エコマイバッグ》



【レジ袋削減環境対応買い物物袋】

《かんたんバッグ》



《エコポケショッパー》



《エコプチバッグ》



コンビニのお弁当が横向きに入ります

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	適用される事項	本社/工場
廃棄物処理法	一般廃棄物	○
騒音規制法	断裁機	○
容器包装リサイクル法	包装資材商品	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫	○廃棄無し
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○廃棄無し

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

見直しに必要な情報			
管理責任者の報告及び改善への提案			
[取り組み状況の評価結果]			
①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規等順守記録による）			
・2023年6月8日に定期評価を実施した結果順守されている			
②問題点の是正処置及び予防処置の状況			
・2022年度『電力の省エネ』、『自動車燃料の削減』、『可燃廃棄物の削減』、『節水』、『環境配慮製品の販売促進』の項目で目標未達成の為、目標達成へ向けての取り組みかたを是正処置する			
③前回までの代表者の指示事項への対応			
・エリートDXの購入に寄る子ども食堂等の団体に寄付の実施			
<改善への提案>			
・なし			
[目標・環境経営計画の達成状況]			
(詳細は環境経営計画書による)			
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の省エネ	×	○	体調管理に留意しつつ可能な限り節電に取り組む
自動車燃料の削減	×	○	計画的に営業車を使用してガソリン削減
可燃廃棄物の削減	×	○	分別及び再利用による削減
節水	×	○	今後も無駄な水の使用は控える
環境配慮製品の販売促進	×	○	新商品や環境配慮商品の販売に力を入れる
<改善への提案>			
・目標達成の為の取り組み方法を考えて行動して下さい			

[周囲の変化の状況]	
①外部コミュニケーション記録より	
<ul style="list-style-type: none"> ・東大阪市ふれあい祭り大介ちゃん基金バザーの協賛品提供依頼があり商品を提供した ・こどもの居場所サポートおおさかより寄付のお礼 	
②環境関連法規制等の動向他	
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	
<改善への提案>	
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	
<外部からの苦情>	
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	
[代表者が自ら得た情報]	
<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	
代表者による見直し	
変更の必要性の有無・指示事項	
[環境経営方針]	
変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<ul style="list-style-type: none"> ・変更なし 	
[目標・経営計画]	
変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<ul style="list-style-type: none"> ・変更なし 	
[その他]	
変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<ul style="list-style-type: none"> ・変更なし 	
[総括]	
<p>目標基準年度を2020年度に変更したことにより現実に即した目標となりましたが、夏の暑さや日常生活の正常化特にコロナウィルス5類への移行に向け営業活動が活発になりガソリン削減や電気使用量などすべての項目で目標未達成になってしまいました。環境活動に関しては、これからも全員で丸になり目標達成に向け努力の必要がありますが、今までも省エネに関しては大いに活動していることにより、これから先大きく改善することは難しいと考えます。</p> <p>そのためこれからは環境配慮商品の開発や新商品販売などに力を注ぎ、SDGsに対し全社を挙げて取り組んでいくことを最大の目標とします。昨年から取り組んでいる子ども食堂やFC大阪こども基金への寄付により、日本の中でも満足に食事ができない子供たちに食事を届ける助けになればとの思いをこれからも社員全員と共有していきます。そして、廃棄される原材料を組み込んだ紙を使用するなど持続可能な社会に向けての小さくとも確実に前に進めていくことを目標とします。</p>	

1・貧困をなくそう



エリートDXを1枚購入いただくと2円を子ども食堂等の団体に寄付
BIY防災バッグを1枚購入いただくと5円をFC大阪の「こども基金」に寄付
これは貧困にあえぐ日本の子供たちをなくすことを目的としている

こどもの居場所サポートおおさか

・・・寄付型商品によるご寄付・・・



マツシロ株式会社様は東大阪に本社を構える紙袋製造会社です。
社会貢献の一環として、オリジナル紙袋の売上の一部を寄付という形で
ご支援くださいました。今後継続してご支援いただけます。

マツシロ株式会社様よりご寄付いただきました。

東大阪に本社を構えるマツシロ株式会社様は社会貢献の一環として、昨年よりオリジナル紙袋の売上の一部を寄付してくださっています。

昨年に引き続き、今年もご寄付くださいました。

コロナ禍や物価高、社会情勢の変化など、様々な社会の変化に困難を抱えるこどもたちをサポートするこども食堂さまを応援するために活用させていただきます。

こどもたちの支えたいという松城社長のお志に応えるために、こどもの居場所サポートおおさかも頑張りたいと思います。

11.住み続けられる街づくりを



都市の防災環境改善に関する目標。BIY防災バッグは防災に必要な商品がイラストで記載されており、自分でカスタマイズすることで防災意識の向上につなげることを目指している

政府の内閣官房『国土強靱化民間の取り組み事例集』に掲載された

13.気候変動に具体的な対策を



地球温暖化が招く気候変動やその影響を軽減する為、照明器具をすべてLEDに替え省エネの推進

14.海の豊さを守ろう



プラスチックごみ削減のため、エコバッグの製造販売